

<株式会社エフエム東京 第 527 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：令和 8 年 4 月 7 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

ロバート キャンベル委員長	佐々木 俊 尚 委員
松 田 紀 子 委員	山 口 真 由 委員
柴 崎 友 香 委員	福 里 真 一 委員

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生	代表取締役社長執行役員
内藤 博志	取締役執行役員コンテンツ事業局長
宮野 潤一	執行役員総合プロデュース局長
砂井 博文	総合プロデュース局コンテンツ・プロデュース部長
西森 郁馬	総合プロデュース局業務管理部長
小林 弘幸	総合プロデュース局コンテンツ・プロデュース部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（65 分）

『ONE MORNING』ダイジェスト

2026 年 3 月 25 日（水）6:00～9:00 TOKYO FM

〈議事内容〉

議題 1:最近の活動について

■TOKYO FM 4 月番組改編

TOKYO FM では、2026 年 4 月 1 日より春の番組改編を行いました。今回の番組改編の改編率は 13.9%（新番組＋出演者変更＋時間移動含む）となります。

『SCHOOL OF LOCK!』

◇放送時間：月～木曜 22:00-23:55 / 金曜 22:00-22:55

◇出演者：（月～金）アンジー校長・たんぼ教頭

10 代向けワイド番組『SCHOOL OF LOCK!』開校 21 年目のこの春、新たな出演者を迎えてリニューアルいたしました。メインパーソナリティは、アンジー校長（アンジェリーナ 1/3）&たんぼ教頭（溝上たんぼ）が担当。

この 3 月まで教頭と務めたアンジェリーナ 1/3 さんは、4 月より『SCHOOL OF LOCK!』初の女性校長となります。新たに加わるたんぼ教頭こと溝上たんぼさんは、得意のフリースタイルラップを使ったネタショート動画で 10 代から人気を集めています。言葉のチカラを武器にする二人が、新時代の『SCHOOL OF LOCK!』を担当します。

『THE TRAD』

◇放送時間：月～木曜 15:00-16:50

◇出演者：（月・火）稲垣吾郎、山本里菜

（水・木）ハマ・オカモト、森音朱里（新出演者）

ラジオの中のレコード店『THE TRAD』。4 月からは、水曜と木曜を担当する“専属店員”が、中川絵美里さんから、新たに、フリーアナウンサーの森音朱里（もりねじゅり）さんに変わります。現在日テレ「ZIP」にも出演中で、柔らかい声とカナダ人の父を持ち英語力も堪能。『THE TRAD』に新たな風を吹き込みます。



▲左から アンジー校長、たんぼ教頭



▲森音朱里

■ TOKYO FM 『SCHOOL OF LOCK! 20th Anniversary MY GENERATION 2026 supported by マイナビ』

『SCHOOL OF LOCK!』が卒業シーズンに様々な形でお届けしてきたライブイベント「MY GENERATION」を 2026 年 3 月 28 日、東京ガーデンシアターにて開催いたしました。

2020 年からおよそ 6 年間パーソナリティをつとめたこもり校長が、3 月 31 日をもって退任となり、これまでのありがとうも込めた卒業イベントとして実施。番組内でコーナーを務める乃木坂 46 の賀喜遥香、井上和とのとトークや、過去のレギュラー出演者・サカナクション山口一郎とのステージでは「新宝島」のサプライズコラボも。金曜レギュラーを担当する SUPER BEAVER によるライブ、ラストは、こもり校長がメンバーの GENERATIONS によるライブが披露され、来場したリスナーたちの卒業を彩る大盛況のイベントとなりました。



▲GENERATIONS によるライブ



▲サカナクション山口一郎、こもり校長、アンジー教頭による「新宝島」サプライズコラボ

■ 『TOKYO FM 開局 55 周年記念 BABYMETAL のメタラジ! FES』

TOKYO FM でこの 3 月まで 1 年間 3 ヶ月にわたり BABYMETAL がパーソナリティを務めた番組『BABYMETAL のメタラジ!』では、3 月 29 日（日）、東京ガーデンシアターにて番組初イベント『TOKYO FM 開局 55 周年記念 BABYMETAL のメタラジ! FES』を開催いたしました。

番組では、2025 年 1 月の番組スタートから、「メタトモの輪を広げて、メタラジ! のイベントを開催せよ」という大きなミッションを掲げ、その集大成として、本イベントの実施となりました。出演は BABYMETAL、マキシマム ザ ホルモン、新しい学校のリーダーズ。各アーティストの圧巻のステージ加え、3 組によるこの日だけのスペシャルコラボも披露され、大盛況で幕を閉じました。



▲全員での集合写真



▲BABYMETAL のライブ

議題 2 : 番組視聴

【番組名】『ONE MORNING』

2026年3月25日(水) 6:00~9:00 TOKYO FM

出演: ユージ、吉田明世

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、毎週月曜日から金曜日朝6時から生放送中の『ONE MORNING』の3月25日(水)の放送回です。この番組は、2019年にスタート、2021年から現在までタレントのユージとフリーアナウンサーの吉田明世がパーソナリティを務め、20代から40代を中心に働く世代をコアターゲットにした情報ワイドプログラムです。

番組構成は、リスナーが1日をスタートさせるにあたり必要な情報、天気・交通・ニュースを30分に1回程度オンエア。どの時間から聞き始めても最新の情報が手に入るものになっています。取り上げる話題はリスナーに寄り添い“私たちの生活への影響”を切り口にすることを意識しています。また、リスナーからメッセージを募集するコーナー「ワンコメ・ワンジャッジ」では、ニュースや時世をきっかけにテーマを設定。メッセージの紹介と共にXのアンケート機能を使った意識調査・実態調査を実施しています。

今回ご試聴頂いた3月25日の放送回は、高市首相のトランプ米大統領との会談をうけた報道『「世界中に平和と繁栄をもたらせるのはドナルドだけだ。」とお世辞戦略が奏功』をきっかけに「お世辞、言えますか?」というメッセージテーマで、ワンコメ・ワンジャッジを展開しました。



【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○吉田明世さんはテレビの時よりラジオの時の方がずっと印象が良い。テレビの時は若干の硬さ・冷たさ・計算高さという印象を受けていたが、実はそうではなくて、若干の不器用さやオタクっぽさが出ているのがすごく良かった。ユージさんとの関係もフラットな感じが良く、ユージさんがワッーと言ったことを吉田さんが淡々と切っていくのが番組の恒例になっていて、聴いていてとても気持ちが良い。

○ユージさんの徹底した軽薄さが計算なのか気になった。毎日聴く番組だから意識して軽めな感じにしているのはわかる。しかし、徹底した自己肯定と軽さの中に実は、傷つきやすい少年みたいな心があるのではないかと思うと、真実を見つけないと思っ、ずっと聴いてしまう。こういったことが、中毒性となってリスナーを引き付けているのではないかと思った。世界観としても面白く、表層的な部分と、もう少し深い所が好きで聴いている人が多いのだろうとファンコミュニティを想像させる番組だった。

○朝の時間に役に立つことを意識した番組だと思った。そのことが、ちゃんと設計されていてニュースやトレンドの解説も的確に入っていて仕事先などでネタとして話題にしやすいとも思った。ユージさんと吉田さんの適度なツッコミが、すごく面白いわけではないが、すごく寒いわけでもなく、その適度な感じが良いと思った。

○今回の「お世辞、言えますか？」というテーマは、高市首相がトランプ大統領に言ったことをお世辞にまとめていいのかということはあるが、生活に近いところに落としているので考える切っ掛けになる。番組内のコメントを聴きながら、お世辞は長らく下から上に言うものだったが、今の時代は、大事なお世辞は上から下へ言うものだなとも思った。新年度、新入社員も入って来る時期だが、いかに下を上手く褒めるかが社会の課題になっていて、お世辞というワードで今までは言っていなかったかもしれないが、そこが番組で語られていることと、少し違うなと感じた。

○気楽に聴ける非常に良い番組で楽しかった。同じ時間帯の他局のある番組は、マクロ視点で経済を語る硬派な番組だが、意外とシニア世代には人気が高い。トランプ大統領と高市首相の会談をどうやって捉えるかは非常に高度な話だが、一方で「ONE MORNING」のように、まったく違うアプローチで自分の身の回りの「お世辞」の話に持っていきやり方は気楽に聴けて良いと思った。こういう話を語ろうとすると一見、安っぽくて古臭い政権批判などに陥りがち、そこにいかないでミクロ視点的なやり方で良いアプローチだと感じた。切り分けが出来ているからこそ、

番組ごとに様々なカラーがあるのも面白い。ラジオ局それぞれのやり方があることもいいことだと思った。

○「ONE MORNING」は、聴くと元気になる。1日を満たしてくれる番組となっている。ユージさんと吉田さんの対等な距離感は、作ろうと思っても作れない。そこが一番惹かれるところ。固定化された構図がまるで無い、2人の立場が対等でとてもフラットなのが良い。締めるところはキチンと締め、盛り上げる所は盛り上げたり、吉田明世さんのアナウンサーとしての確かなスキルが、ペースメーカーを担っていて安心して聴ける。また2人が番組を良くしていこうという気持ちがダイレクトに伝わり、その関係性が聴いているリスナーにとって朝からメンタルを安定化させる効果があると思う。スタッフの声が入ってくるのも凄く良い。ユージさんがボケるとスタッフが笑う。その笑い声から現場の空気感とか良好な人間関係が垣間見えてホッとする。緊張感が良い意味で無いところも聴いていて安心する要素だと思う。

○キャラクターと茶目っ気も魅力的。AIの話の時に吉田さんが「チャッピーごめんね」みたいに言う所が可愛いらしい。人間臭さ、人間のやさしさがあって、それを飛ばさずにちゃんと言うところがすごく惹かれる。2人の掛け合いがベタベタした厭らしさ、どちらかがどちらかに阿ってみたいなのもまったく無い。聴けば聴くほど、2人を身近に感じて家族の様に思える。そういう心地よさがある。また、ユージさんはご家族の話をする時に割と赤裸々に心情を吐露する場面もたくさんあって、そういう話を聴くとすごく誠実な方だと思う。軽薄なだけでは無いから大丈夫。だからこそ、どこまでも明るくて軽妙な感じを貫いているのかなと思う。そういった姿勢も聴いていて励みになる。

○情報番組としての高い信頼性と構成。30分ごとのニュースや天気は、ちょうど良い感じで最新情報が得られる。コンパクトかつ的確にまとめられていて、それがまた散りばめられている。どこから聴いても情報が得られるので聴きやすい。吉田さんの声も魅力的でトーンが高すぎず、はしゃぎすぎず耳に馴染むフラットな感じが朝からとても心地が良い。個人的には金曜日のワンワンモ相談小屋のワンモちゃんも好き。

○朝に聴きやすい番組だということが、まず思ったこと。朝はなかなか慌ただしく用意して、出勤などもして、大変だと思うが、そういう中で自然にいろいろな話題が耳に入ってくるので聴きやすい。桜の話など、季節的な身近な話題から入って、だんだんいろんな話題に広がっていくのもすごく良いと思った。朝に今日一日の話題を提供する役割だということを考えられて作られているんだということがわかった。行った先、仕事先で誰か人と話すとか、番組で聴いたことを、今日それをやってみようかと思うことが、6時台、7時台、8時台でそれぞれ各時間ごとに話

まっっていると思った。ユージさんと吉田さんのバランスがとても良くて、お互いのお子さんの話も自然にお話される場所も良い。ユージさんもマイバッハの話をおんなにサラっとしていて、自慢にもならず、特別なことでは無くて、ただ車が好きだということで、こういうトーンで話されるのは貴重なキャラクターだと思った。

○今回のテーマは、高市首相とトランプ大統領の会談から「お世辞」の話だったが、まずは、世間的にみんな「お世辞」だと認識しているんだとしみじみ思った。もともとお世辞外交が功を奏したという報道があるというところからの流れだったが、自分の生活と結びつきづらいう国や外交の重要な問題で「お世辞」と繋げて、いろいろな話をするということは良い面もあるが、国レベルの話で、かつ深刻な局面でもあったりするんで、それを身近な人間関係や会社の中のお世辞の様なところに終始してしまうのはちょっと引かかる所もあった。7時台の塚越健司さんのパートでトランプ大統領の発言は信用ならないという厳しめの批判があったので、そこでバランスをとっているのかとも思ったが、同じレベルの問題ではないという話がもう少しあってもいいのかなと思った。朝の番組で軽くてみんなが話しやすい話題に持っていくことと、そうすることでちょっと問題の本質が置き去りになってしまうことのバランスをとることは難しいと思った。

○選曲の戦略が面白く、桜が満開であるというニュースから「SAKURA / いきものがかり」、カムバックを果たした「Body to Body / BTS」の曲があって、みんなが聴いている曲が追いかけていながら、この日のテーマ「お世辞」にあった選曲も別にあって、「Timing / ブラックビスケッツ」や「なんでもないよ / マカロニえんぴつ」が完全に被さるのではなく、その日のテーマのトーンと重なっていく。「IRIS OUT / 米津玄師」が入って来て、なぜこの選曲をしたのか考えさせられるような場面もあって、すごく良かった。

○番組は6年目に入ろうというところで、ユージさんと吉田さんの息がぴったりあっている。ラジオは嘘のつけないメディアだと思うので、お互いに許しあっているということがとても伝わっていて、そこがすごく良いところだと思う。ユージさんの軽薄さ・軽妙さという話があったが、軽薄さの下に燻る自己探求心が二重奏のように同じ人間の中にある。例えば、それはコメディアンが一番強い力で、ボケたい人の中には寂しさや自分を超えたい探求したいという思いがある。チャーリーチャップリンの時代からコメディの王道だと思う。意識はするかしないかは別としてユージさんも同じ思いを持っているものかもしれないと感じた。また、吉田さんが居るからそれが引き出されている。

○塚越さんが担当する7時台のニュースの箇所は、イラン攻撃や再エネ賦課金引き上げの話、イラン情勢と関連に話を戻していくことで、とてもコンパクトにまと

まっていた。しかし、できれば、もう少しユージさんや吉田さんもそこに加わって、彼らとそのニュースをどういうふうに思っているかもっと伝えて欲しかった。2人の声を織り込ませることが出来れば番組はより良くなると感じた。

○4月は入社や上京など、「お世辞」がすごく言われる季節。別れの季節の3月にあえて「お世辞」というテーマを取り上げなくとも、後1週間遅らせても良かったのではないかと思った。しかし、リスナーからのメッセージ紹介で「お世辞」に関する、たくさんの知恵や英知を感じる事が出来た。考えさせてくれたり、気が付かせてくれたり、感じる事が出来るスパークみたいなものが番組内にたくさんあったので面白く聴かせていただいた。

■ありがとうございます。とても勉強になりました。ユージさんの軽妙な部分もシリアスな部分も吉田さんのツッコミも、全て本場で、この番組が上手くいっている要因は、2人ともそういうところで嘘が無く、向き合っている。夫婦でもなく、親友でもないけれど、何か一緒に朝を盛り上げようという気持ち、みなさんを後押ししようという気持ちで、それが今、形になってきているのだと思っている。そのことを今回、評価して頂けたのだと感じましたので、これからも全国の朝の背中を押すような形で頑張っていきたいと思います。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「TOKYO FM Navi」4月26日(日)5:55～6:00放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>